記者発表資料

令和6年 11 月 28 日
能代河川国道事務所
秋　　田　　県
仙　　北　　市
北　秋　田　市

一般国道105号「大覚野峠防災」工事に着手

～12月15日(日)に起工式を行います～

大覚野峠防災は、災害に強いネットワークの確保を目的として整備する延長5．7kmのバイパス事業で、令和3年度から直轄権限代行により国土交通省が事業を進めております。

これまで、調査設計、用地買収等を進めてきたところですが、このたび工事に着手する運びとなりました。

つきましては、工事の安全と早期完成を祈念し、起工式を執り行うこととしましたのでお知らせします。

■起工式

日　時　：　令和6年12月15日(日)　13時00分～

場　所　：　秋田県仙北市西木町上桧木内大森字 37 番地
（多世代交流施設　山鳩館）(別紙－1)

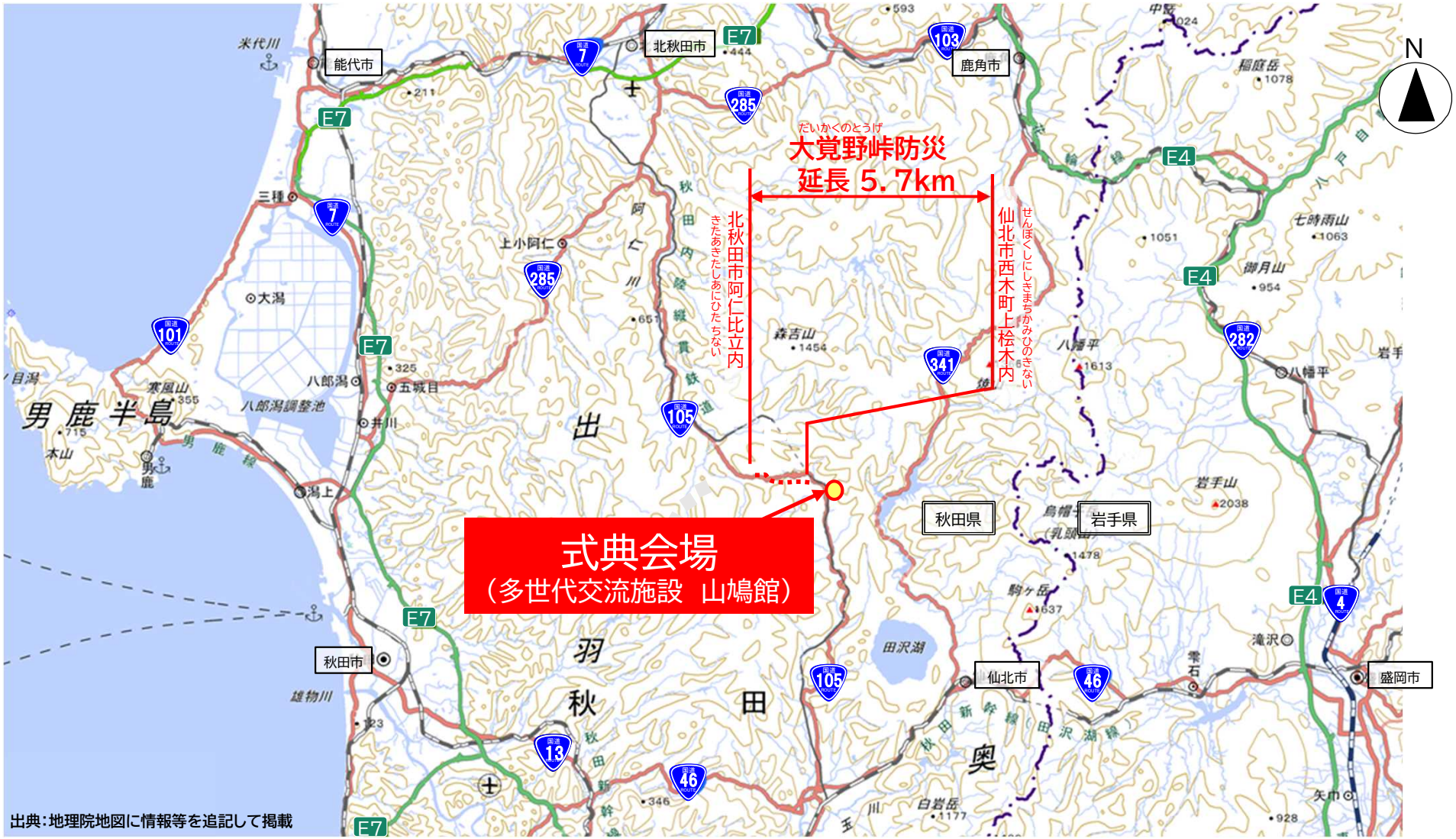
主　催　：　秋田県、仙北市、北秋田市、能代河川国道事務所

次　第　：　挨拶、来賓祝辞、鍬入れ　等

＜発表記者会：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ＞

問 い 合 わ せ 先
国土交通省　東北地方整備局　能代河川国道事務所 電話番号：0185－70－1001(代表) 副所長(道路担当)　大久保　広　（内線205）

一般国道105号　大覚野峠（だいかくのとうげ）防災　位置図



■起工式
1）日時：令和6年12月15日13時00分～
2）場所：秋田県仙北市西木町上桧木内大森字37番地
（多世代交流施設　山鳩館）
3）主催：秋田県、仙北市、北秋田市、能代河川国道事務所
4）概要：挨拶、来賓祝辞、鍬入れ等

※お車でお越しの報道関係の方は、「別紙1：会場案内図」を参照下さい。

※報道関係者の方は、別添「取材申込書」による事前申し込みをお願いします。

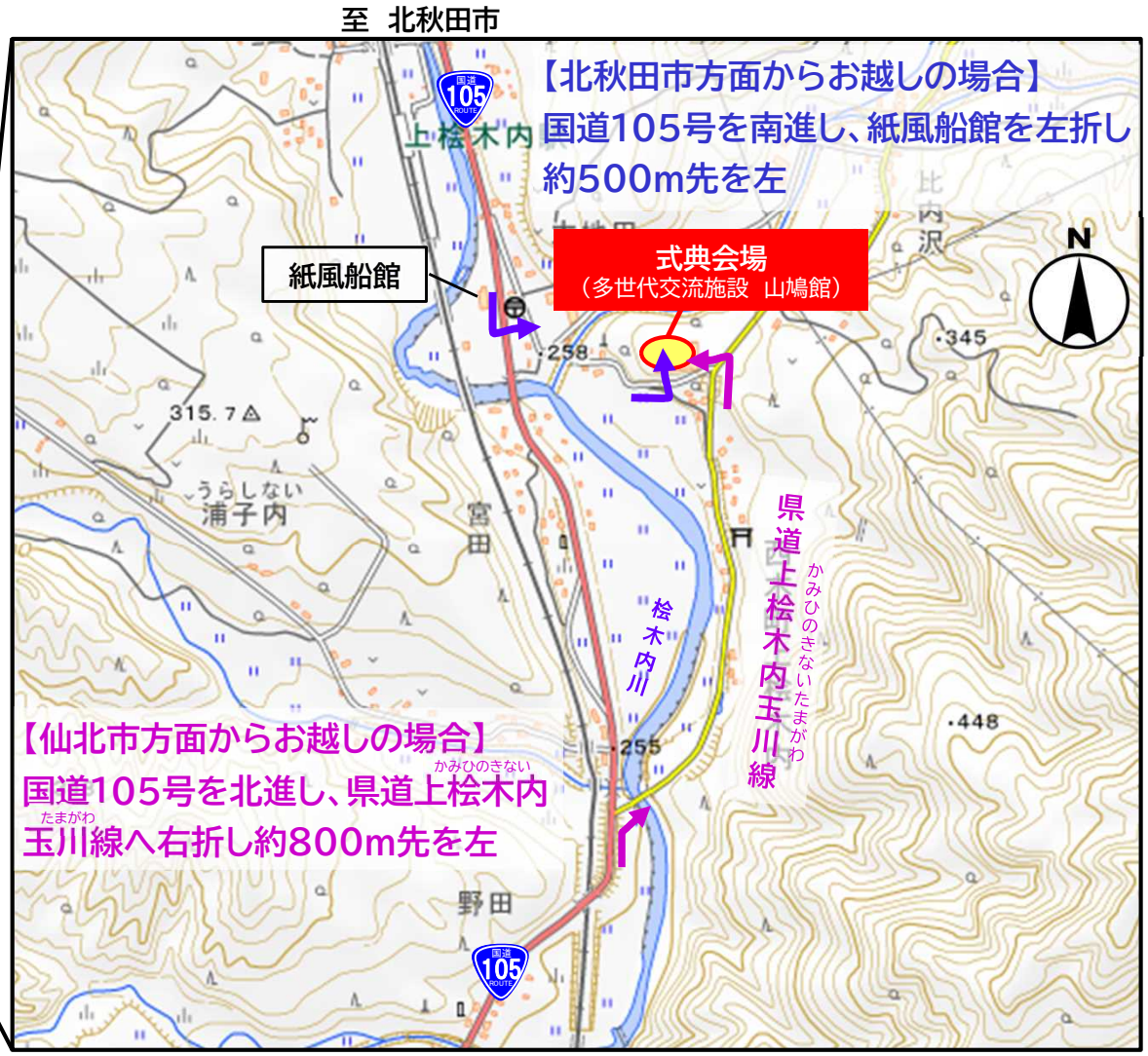
起工式典会場　案内図　　別紙―1

【式典会場　位置図】



出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

【式典会場　詳細図】

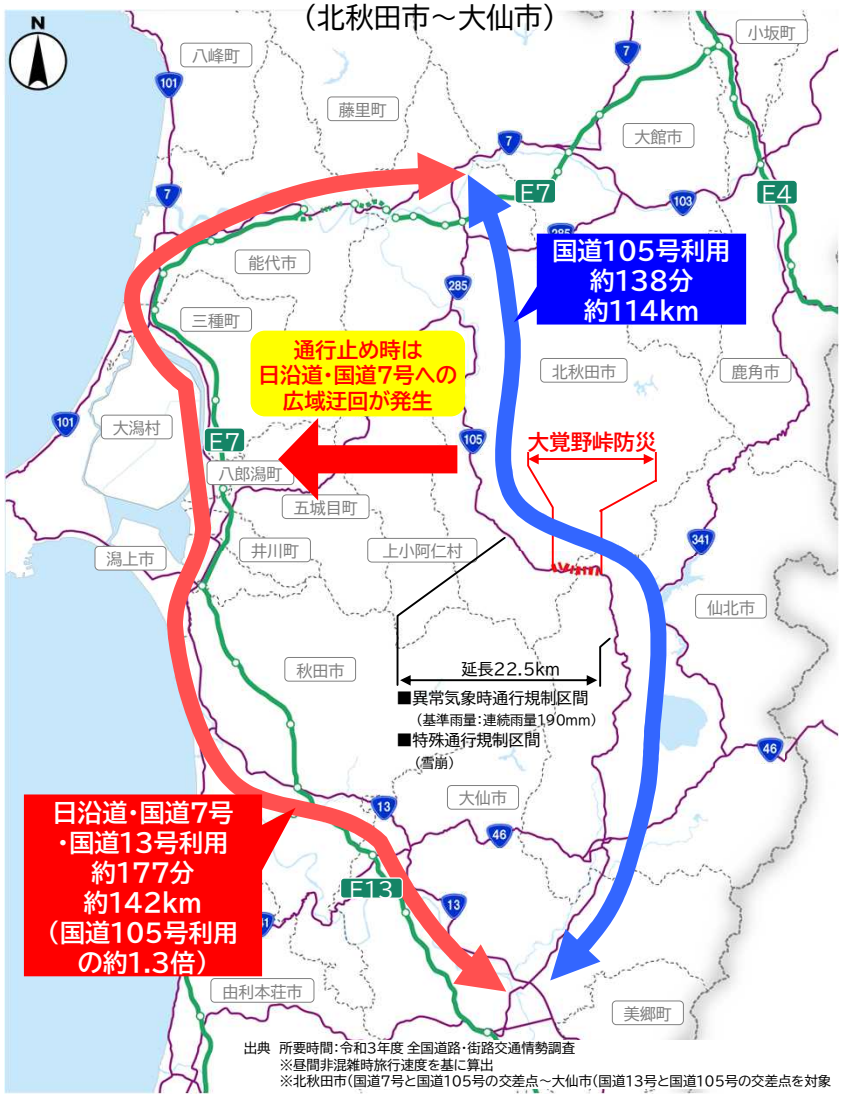


出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

道路ネットワークの信頼性の確保

・国道105号大覚野峠地区は、急峻かつ脆弱な地形のため、雪崩・倒木や土砂崩れ等による通行止めが発生
・通行止め発生時は広域迂回が発生し、北秋田市～大仙市間の所要時間が約1.3倍に増加
・大覚野峠防災の整備により、災害発生箇所を回避し、自然災害に強い道路ネットワークの確保に期待

▼国道105号通行止め時の迂回ルートイメージ
（北秋田市～大仙市）

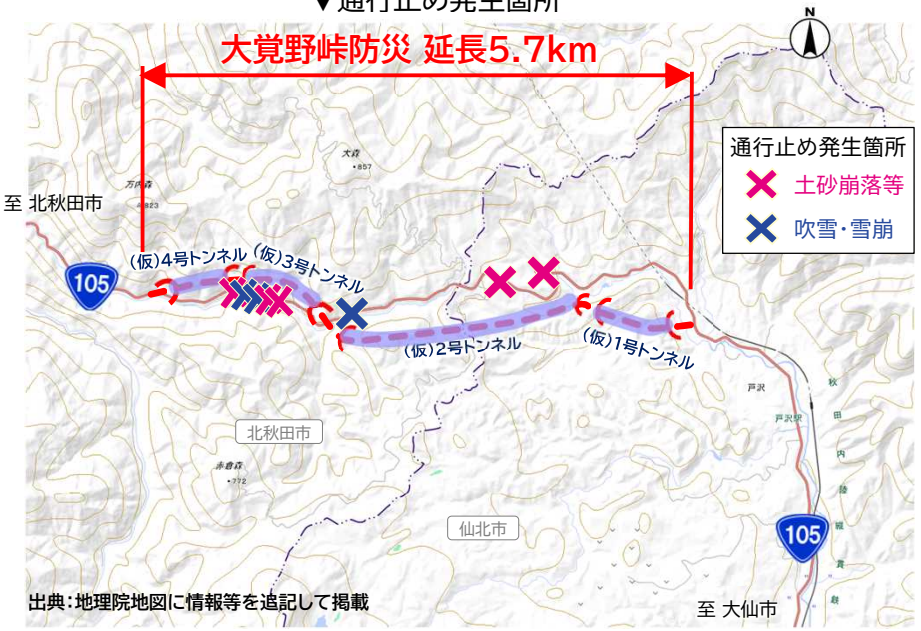


▼国道105号大覚野峠地区における被災状況


雪崩・倒木による全面通行止め（H23.4）

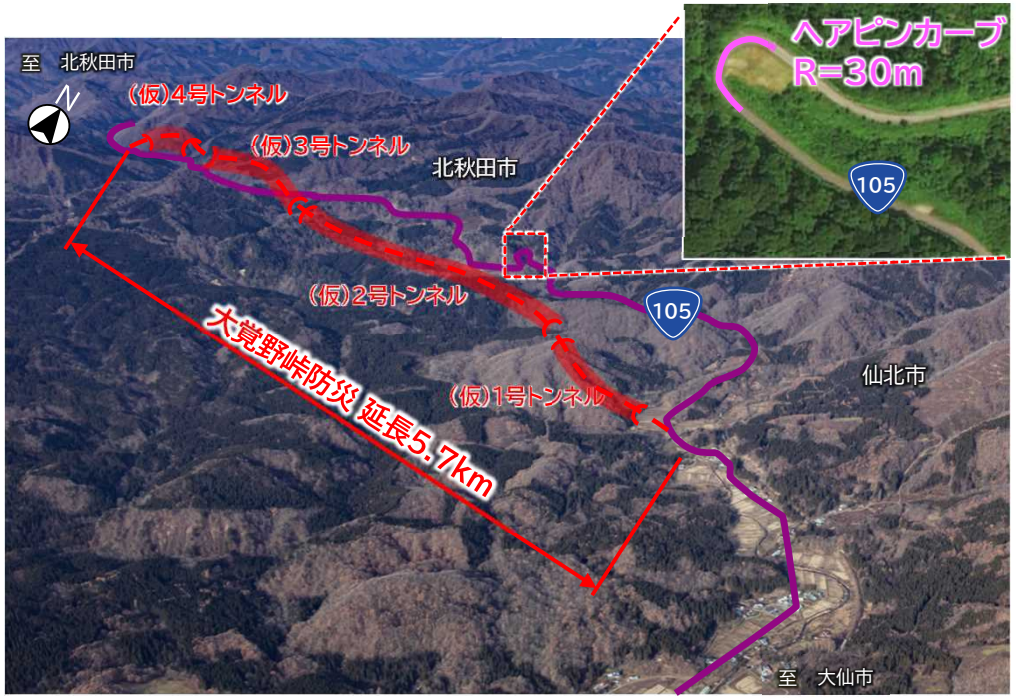

土砂崩れによる全面通行止め（R4.8）

▼通行止め発生箇所

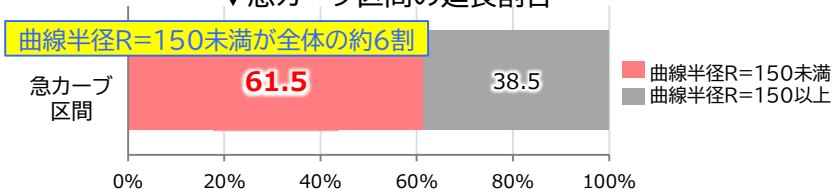


急勾配・急カーブを回避した走行性の向上

・大覚野峠区間は、急勾配（最大縦断勾配9.6％）や急カーブ（最小曲線半径30m）、狭小幅員の箇所が存在
・特に、冬期では沿道への堆雪により大型車のすれ違いが更に困難となる等、走行性に課題
・大覚野峠防災の整備により、急勾配や急カーブ等を回避することで、走行性の向上に期待



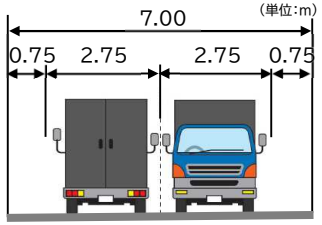
▼急カーブ区間の延長割合



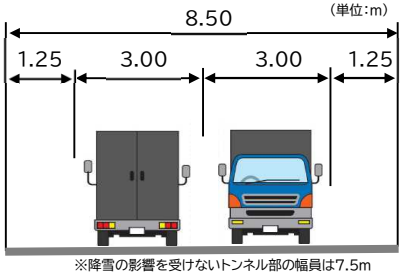
▼冬期の走行状況



▼現況の道路幅員



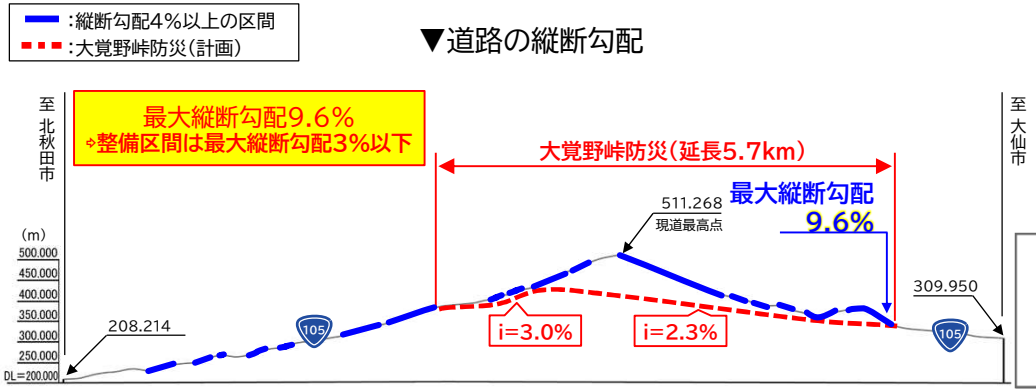
▼整備後の道路幅員



※降雪の影響を受けないトンネル部の幅員は7.5m

大覚野峠防災の整備後、
幅員を8.5m確保
➪1年通して走行しやすく、
安全・安心な通行空間が確保

▼道路の縦断勾配



《物流関係者》

- 大仙市から、弘前や青森、大館方面へ輸送する際に利用している。
- ヘアピンカーブの箇所で急カーブ、急勾配のためトレーラーが通行するのに怖いと感じる。

（R1.10　大仙市内の輸送業者ヒアリング結果）

※送付票は不要です。
FAX 番号　0185－70―1118
総務課　行き

別添

「一般国道 105 号　大覚野峠防災起工式」
取材申込書

標記について、取材を希望される報道機関は、以下に必要事項を記入の上 FAX の送付をお願いします。

FAX 送付期限:12月6日(金)15時まで

1. 会 社 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. ご 氏 名
（代表者のみ） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3. 連 絡 先　TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※こちらから連絡させていただく場合があります。
連絡が取れる電話番号をご記入ください。

4. 人　数　（代表者を含む）　人

※開式前に式典内容等を説明させていただきますので、12時30分までに式典会場にお集まりいただきますようお願いいたします。